

「令和7年度 市議会議員と話そう」の実施結果

1 概要

令和元年度から、市議会に関心を持ってもらうこと、政治・行政・選挙等に対する理解を深めてもらうこと等を目的として、高校生との意見交換会を実施してきた。

本年度も、市内3校（袋井特別支援学校高等部、袋井高等学校、袋井商業高等学校）の生徒の皆さんとの意見交換会「市議会議員と話そう」を実施した。

今回は、高校生の意見を市政に反映させるために、出された意見をカテゴリーで分類し、取りまとめた結果を報告する。

なお、袋井高等学校は、学校の総合探究の授業の一環として、議員との意見交換会を開催したため、別に開催結果を作成した。

2 開催場所、日時、参加者

学校名	日時	開催場所 実施方法	生徒等	議員
袋井特別支援学校 高等部	令和7年12月10日（水） 13:10～14:00	学校1階会議室 グループワーク	生徒12人（2年生） 保護者5人	12人
袋井商業高校	令和8年1月9日（金） 15:50～17:00	学校3階会議室 グループワーク	生徒25人 （1～3年生）	13人

3 実施内容

(1) 議会の活動報告

議長が市議会の活動報告と主権者教育についての講話を行った。

(2) 生徒等と議員とのグループワーク及び発表

生徒等は、4人から5人のグループに分かれ、各グループに議員が2人参加して、学校ごとに設定したテーマについて意見交換を行った。

4 意見交換のテーマ

各学校で、次のとおりテーマを設定していただきました。

(1) 袋井特別支援学校

テーマ：「安心・安全な街づくり～袋井市の防災～」

理由：本年度、高等部の生徒は、防災学習の中で袋井市のハザードマップの確認や避難所生活の体験などを行ってきました。対話を通して、これまでの学びを深めるとともに新たな気づきを得ることを期待し、このテーマを設定しました。

(2) 袋井商業高校

テーマ：「袋井をもっと“推せる街”にするには？」

理由：「高校生の目線から、袋井はどのように見えているのか。」「どうなったらもっと魅力的な街になるか。」このことについて、袋井市の将来を担う高校生の視点で考え、対話を行うことでさらに理解を深めるためにこのテーマを設定しました。

4 実施結果

皆さんの意見と、意見交換実施後のアンケート結果は別紙のとおり

5 総括

意見交換では、参加された高校生の皆さんが、それぞれのテーマについて事前に学習をした結果を踏まえての考えや、日頃の生活の中で感じていることなど、様々な意見を聞くことができ、議会にとって大変有意義な場となったことを感謝申し上げます。

防災に関しては、事前学習を通して様々な体験をされる中で、“共助”の重要性が共有され、自分たちに何ができるのかについて、現実的な視点から意見が交わされました。行政による支援だけでなく、地域の中で支え合う関係づくりの必要性を、若い世代の言葉で語られたことは、防災施策を考える上で、大変意義深いものでした。

また、袋井を“推せる街”にするための取組については、若者自らが情報発信を行うことや、地域活動やイベントへの参加、住環境をきれいにするなど、日常の行動に根差した多くの提案が出されました。市外から通学する生徒も多い中で、袋井市の現状や魅力について主体的に考え、より良くしていこうとする意識が共有されたことは、本市の将来を考える上で、非常に心強いものです。

本委員会としましては、今回の意見交換を通じて、高校生が地域課題を的確に捉え、自ら学び、考え、提案する力を有していることを改めて確認するとともに、こうした若者の声を一過性のものとせず、議会活動や行政施策に反映していくことが、今後の重要

な課題であると認識できました。

皆さんからいただいた御意見は、議員全員で共有し、議会活動の中での調査・研究に生かすとともに、市の担当課とも情報共有を図り、今後の事業の企画・検討をする際の参考としていただきます。

意見交換で出された皆さんの意見（袋井特別支援学校）

テーマ：安心・安全な街づくり～袋井市の防災～

1 防災について、地域の中で私たちができることはどんなことですか？

① 備え（自助・共助）についての意見

- ・防災ハンドブックを知る。
- ・普段からできる防災について周りの人(家族や地域)に広める。
- ・避難場所を確認しておく。

（どこへ逃げれば安全なのか、家からの経路も含めて理解しておく。）

- ・散歩しながら堤防の巡視など危険がありそうな場所をチェックする。
- ・地域の安全な場所や危険な場所を知る。

（崖、川、古いブロック塀などのリスクを把握することで判断が速くなる。）

- ・非常食や水を準備する。

（地震や大雨でしばらく家に戻れない可能性に備えるため）

- ・家で防災用品を用意する。
- ・家族や近所の人と情報を共有する。

（災害時に連絡が取れない可能性があるため、事前のすり合わせが大切）

- ・地域の人に子供のこと(顔・存在)を知ってもらう。
- ・台帳に記載して避難計画にいれてもらう。
- ・地域行事に参加し顔を知ってもらう。
- ・日頃から挨拶をする。
- ・自助で避難できる準備をしておく。

② 訓練への参加についての意見

- ・地域の防災訓練に参加する（複数意見）。

（実際に避難の流れを体験すると、自分の動きが明確になる。）

- ・避難訓練に参加する。

③ 発災したときの「自助・共助」についての意見

- ・安全を確認する。
- ・状況の安全確認をして知らせる。
- ・情報交換を図る。
- ・ハザードマップを見る。
- ・防災マップを見る。
- ・近所の人に知らせる（複数回答）。
- ・知っている人に助けを呼びかける。
- ・隣に助けを求める。
- ・救助の助けをする。
- ・けがをした人の助けをする（複数回答）。
- ・タンカを手伝う。
- ・非常食を用意する。
- ・非常食日の配布を手伝う。

意見交換で出された皆さんの意見（袋井特別支援学校）

テーマ：安心・安全な街づくり～袋井市の防災～

2 防災について、学校の中で私たちにできることはどんなことですか？ （体験したことを含む）

① 安全確保についての意見

- ・校内の安全な場所・避難経路を確認する。
（どこに集まり、どこを歩いて避難するのかを知っておく）
- ・避難経路の確保と確認
- ・登下校中の安全確保
（建物の落下物や交通の危険など、普段の経路を把握することで事故を減らせる）
- ・学校周辺の地図を覚える。
- ・危ない場所を事前に確認しておく。
- ・ハザードマップを確認しておく。
- ・福祉避難所を進める。
- ・避難方法や避難場所を明確にして有事の際に備える。
- ・ヘルメット、防災頭巾の必要性
- ・防災に関する学びの機会を設ける。

② 備蓄品についての意見、体験したことなど

- ・非常食や備蓄品の確認
（何がどこにあるか知っておくと、本番で動きやすい。）
- ・非常食の準備（備蓄）
- ・非常食の食事体験（学校・自宅にて）
- ・非常食を9食分学校に置く。
- ・簡易トイレや簡易ベッドなどの組み立て練習
（学校が避難所になることが多いため、準備ができることは役立つ）
- ・寝袋体験
- ・備蓄のチェック

③ 発災したときにできること

- ・地震発生時は、机の下に身を隠す。
- ・周りの人の状況確認と助け合い。
- ・みんなに情報を伝える（共有する）。

（災害が起きた時、周囲に注意喚起するのも大切な行動）

- ・ハザードマップを確認し安全に避難する。
- ・「大きな声」「トランシーバ」「メガホン」などで助けを求める。
- ・けが人を確認する。
- ・怪我をしている人がいたら先生にすぐ報告をする。
- ・担架搬送への取り組み
- ・タンカで人を運ぶ。
- ・テント張り、段ボールベットの組み立て
- ・学校の中でベッドを作ったり、テントを立てたりする。

まとめ

- ・一番大切なものは共助、みんなで助け合うこと
- ・具体的な行動
 - ⇒地域の一員として、自ら進んで行動すること、声掛けと助け合い
- ・普段からコミュニケーションを取ってお互いを知ってもらうこと
- ・事前準備などの自助、助け合いなどの共助が大切、防災訓練での経験も必要である。

意見交換で出された皆さんの意見（袋井商業高校）

テーマ：袋井をもっと”推せる街”にするには？

1 袋井の魅力的なところは？

① 自然・文化、特産品などに関する意見

- ・自然が豊か、遠州三山がある（法多山の厄除け団子が有名）。
- ・自然豊か（複数回答）
- ・ほどよく田舎、森林・田んぼが広がっている。
- ・海が近くてきれい。
- ・遠州三山がある。
- ・遠州三山など歴史的な寺院がある。
- ・法多山・可睡斎・油山寺（歴史を感じられる。団子が有名）
- ・遠州三山があり、歴史に触れあう事ができる。
- ・クラウンメロンや、たまごふわふわがある。
- ・クラウンメロンが有名（複数回答）
- ・フッピーのキャラクターがかわいい。

② 施設・イベントに関する意見

- ・公園が多い（複数回答）。
- ・展望台（同笠海岸の防潮堤にあって眺望がいい）
- ・エコパがある。
- ・エコパでのイベントが盛ん。
- ・エコパがあり、芸能人がいっぱい来る。
- ・エコパやさわやかアリーナなどの体育館がある（磐田は総合体育館しかない。さわやかアリーナは新しくいろんなイベントが行われている。）。
- ・小笠山総合運動公園エコパやさわやかアリーナなど運動施設が充実している。
- ・サッカーやラグビーなどのスポーツ競技で人が集まる。
- ・さわやかアリーナで、勉強・運動ができる（袋井商業生にとっては）。

- ・アリーナ(吹奏楽・マラソンで利用)
- ・いろいろなイベントが多い。
- ・イオン、ノブレスパークがある。
- ・コメダ珈琲（モーニングが好きでよく行く）
- ・遠州袋井の花火が全国でも有名

③ 住環境、通学に関する意見

- ・住みやすく、平和である（犯罪率が低い）。
- ・家を建てやすい（地代が安い）。
- ・子育てや教育の環境が整っている。
- ・移住に優しい環境である。
- ・自転車ですべても行ける。

④ 人に関する意見

- ・地域の方が優しい。

意見交換で出された皆さんの意見（袋井商業高校）

テーマ：袋井をもっと”推せる街”にするには？

2 袋井のもっとがんばりたいところは？

① 遊び場、商業施設、イベントに関する意見

- ・ 駅近くの飲食店が少ない。
- ・ 中高生が遊べる場所を増やす（浜松市市野のイオンなどの大きなショッピングモール）、娯楽施設が少ない。
- ・ スーパーなどの買い物ができるところを増やす（ララポートのように服など買えたらいい。他には浜松に行く）。
- ・ ショッピングモールなどを増やす。
- ・ 遊ぶところを増やしてほしい(若者向け)。
- ・ 若者が訪れる、遊べる場所が少ない。
- ・ 居酒屋やパチンコ屋など大人向けの店が多いと感じる。
- ・ 商業施設を増やす（複数回答）。
- ・ 磐田市のジュビロードの軽トラ市のようにいろんなイベントを袋井で行う。
- ・ 作品販売 東京で開催、袋井市でも。
- ・ 法多山の星満夜など素敵なイベントのPRをもっと行う。

② まちづくりに関する意見

- ・ 袋井駅の周りを盛り上げる（今は飲み屋さんなどしかない）→服屋とか、袋井市限定のグッズなど増やす。
- ・ エコパへのアクセスをよくする→エコパの周りにお店を増やす。
- ・ 駅を栄えさせる（袋井駅にはノブレスパークがあるが愛野駅には周りに何も無い。エコパへ行く人を取り込めたらいい）。

③ 人に関する意見

- ・ 人口を増やす。
- ・ 若者からの人気（住んでる人がいるだけ）

④ 住環境・交通に関する意見

- ・交通機関、車以外だと夜、休日が不便
- ・路線バスの本数が少ない、休日は特に
- ・道路整備をして歩きやすくする特に浅羽地区
- ・市外の人がアクセスしにくい（駅回りはいいが市街地には行きづらい。藤枝駅でループを利用したが便利だった）。
- ・フーちゃん号で土日の運行をして欲しい。
- ・バスなどの交通網が少ない、車がないと不便である。
- ・公共交通機関、特にバス（バス路線が限られていて行けない所がある。待ち時間が長い）
- ・駅前から離れている所などにバスがない。
- ・高速道路に行くバスがない。
- ・交通整備 整備されている所とされていない所に差がある。
- ・道などのインフラの整備（袋井インターから袋商に向かう通学路が狭く凸凹が多い）（※）
- ・通学路には危険箇所も多い。（※）
- ・歩道の段差が高い（道路と歩道の変わり目）。（※）
- ・通学路でゴミが多い。
- ・道路が狭い。
- ・空き家が目立つ。
- ・袋井駅周辺の駐車場・駐輪場が少ない。
- ・動物対策
- ・野生動物の対策

（※）については、「ふくろいインフラメンテナンスセンター」を御案内しました。

意見交換で出された皆さんの意見（袋井商業高校）

テーマ：袋井をもっと”推せる街”にするには？

3 袋井をもっと推せる街にするために自分たちにできることは？

① 情報発信に関すること

- ・ポスターでイベントなどのお知らせを告知して人目に付くところに掲載する。
- ・遠州の花火などイベントポスターを学生が制作する。
- ・袋井市限定グッズを考えてみる。
- ・袋井の店をSNSで拡散する。
- ・SNSを利用して発信する（袋商生徒内では届くが、他者にも広げたい）。
- ・SNSを使う（TikTok、インスタグラムをよく見る）。
- ・袋井の観光地にスタンプを置いてスタンプラリーをする（商品購入やアンケートでスタンプが全部貯まったら商品を与える）。
- ・小中高を通じて袋井市の良いところを見つける探究授業を取り入れる。

② 人に関すること

- ・他の地域の友達を連れて来る。
- ・あいさつとやさしさ

③ 地域参加、イベントに関すること

- ・防災訓練やイベント、ボランティアに積極的に参加する。
- ・イベントを利用する（メロンなど袋井の魅力を利用する）。
- ・自分の地域のイベントに参加する。
- ・袋井市内のイベントを増やして、ボランティア・イベント活動に参加する。
- ・市民一人一人が積極的に地域と関わる。
- ・地元産品をもっと利用する。
- ・ふるさと納税を勧める。
- ・選挙に参加する。

- ・袋井市に住み続ける。

④ 住環境、施設に関すること

- ・治安を保つためにごみ拾いをする。
- ・たまに道にセブンのごみが落ちてるときがあるので、そういうのを積極的に拾う（東京のセブンにはペットボトルを回収する装置があってポイントが付く）。
- ・ペットボトルを回収するとポイントが貯まる仕組みがあるとよい。
- ・月一回、ごみ拾いの日を設けてその重さでポイントが貯まる仕組みにする。
- ・ごみの回収スポットを増やす。
- ・空き家を活用する→日々の生活の中で魅力を再発見・発信していく。
- ・交通ルールを守る。
- ・月一回、学校指定などで体育館の無料開放日を設定する。
- ・宿泊施設をつくる。
- ・大型ショッピングモールを建設する。
- ・映画館や温泉施設をつくる。
- ・大型書店がほしい。
- ・駐車場を増やす。
- ・バス路線を休日も増やし、移動手段出来るようにする。

『令和7年度 市議会議員と話そう』アンケート結果

【袋井特別支援学校 参加生徒12人】

- 1 学 年 2年 12人(100%)
- 2 住所地 袋井市内 3人(25.0%) 袋井市外 9人(75.0%)
 (磐田市:6人、森町:2人、市外と回答:1人)

- 3 議会の活動について知ることができましたか。
- できた 12人(100.0%) できなかった 0人

考察	全員が「議会の活動を知ることができた」と回答した。議長からの議会の活動報告が生徒の皆さんにうまく伝えられた結果といえる。
----	--

- 4 議員と話す時間の長さはどうでしたか。
- 長い 4人(33.3%) ちょうどいい 8人(66.7%)

考察	8人(66.7%)が「ちょうどいい」、4人(33.3%)が「長い」と回答した。時間の長さ(50分)は概ね好感触であったが、4人が「長い」と感じており、また、自由意見では「緊張した」という声もあったことから、時間が「長い」と感じないようになりリラックスした雰囲気なども検討する必要であると考えられる。
----	---

- 5 今後、このような機会があれば参加したいですか。
- 積極的に参加したい 3人(25.0%) 指示があれば参加する 6人(50.0%)
- 参加しない 1人(8.3%) わからない 2人(16.7%)

考察	6人(50.0%)が「指示があれば参加する」、3人(25.0%)が「積極的に参加したい」と回答した。自ら積極的に参加したくなるような、より魅力的な運営の検討が求められる。
----	---

- 6 あなたは、袋井市に住み続けたい(住みたい)と思いますか。
- 『市議会議員と話そう』に参加する前から住み続けたい(住みたい)と思っていた
 2人(16.7%)
- 『市議会議員と話そう』に参加して住み続けたい(住みたい)と思った 1人(8.3%)
- 住み続けたい(住みたい)とは思わない 3人(25.0%)
- 現時点ではわからない 6人(50.0%)

考察	市外から通う生徒が9人(75%)を占めることから、袋井市に住みたいという回答は少ない結果となった。今後も、袋井市の学校でよかったと思っただけの市政運営が求められる。
----	--

7 今年行われた選挙（4月：市議会議員選挙）で投票しましたか。

まだ選挙権（満18歳以上）がなかった 9人(75.0%)

選挙権はあったが、投票はしなかった 2人(16.7%)

投票した 1人(8.3%)

考察	参加者は全員2年生であることからほとんどの生徒が「まだ選挙権がなかった」と回答した。引き続き、今後の投票に結び付くように啓発が必要と思われる。
----	---

8 『市議会議員と話そう』に参加して、今後の選挙で投票に行こうと思いますか。

まだ選挙権がない方は、選挙権を得たら投票に行こうと思いますか。

参加前から投票に行くつもりであった 1人(8.3%)

参加して投票に行こうと思った 5人(41.7%)

投票には行かないと思う 3人(25.0%)

現時点ではわからない 3人(25.0%)

考察	「参加して投票に行こうと思った」が5人(41.7%)と最も多く、投票することの意義が皆さんに伝わった結果と言える。引き続き、今後の投票に結びつくように、投票の大切さを訴える機会を増やすことが必要であると思われる。
----	--

9 若者の投票率の低さ、選挙に関して思うことを自由に御記入ください。

- ・若い人はあまり選挙に行かないということがわかった。
- ・実際に、投票所に行ってみたいです。
- ・若い人は、仕事が忙しくて選挙に行っていないと思う。
- ・僕は、積極的に選挙に行く意識を持ちたいです。
- ・もう少し、若者が選挙に出てくれたらうれしいと思う。ただ、選挙に参加するメリットがないと難しいと思う。
- ・もっと（選挙に）参加した方がいいなと思った。
- ・あまり（選挙に）行ったことはないです。
- ・選挙の話をしてくれたよかったです。
- ・（選挙に）行きたいと思います。
- ・選挙は難しそうに思います。

- 10 『市議会議員と話そう』に参加して気づいたこと、思ったこと、今後の開催に向けて参考にしてもらいたいこと、市議会議員に言いたいことなど、自由に御記入ください。

- ・災害に備えて、けがをしている人や、地震で建物が壊れて、食べ物がなくなることがあると思うので、非常食を届けるなどの対策をしてほしい。
- ・犯罪防止についても、もっと考えてほしいです。
- ・来年の選挙で、説明が分かりづらい人がいると思うので、分かりやすくしてほしい。
- ・みんなのために、いろいろとしてくれてすごいと思った。
- ・市議会議員の（活動の）話の時に、袋井市の住民を安心して暮らせるまちにするための活動をしていることを知りました。
- ・防災のことについて、学ばせていただきありがとうございました。
- ・緊張した。
- ・災害が起こる前に、どう判断すればいいかを先生に話したり、家でも非常食をもう一度確認したいと思った。
- ・ちょっと緊張した。市議会議員の方とたくさんお話ができた。
- ・市議会議員の方と話をするのが緊張した。
- ・少し緊張した。
- ・市議会議員の方がしっかり意見を聞いてくれたのでよかった。

※ 総括

「議会の活動について知ることができましたか」の問いに全員が「できた」と回答し、「今後このような機会があれば参加したいですか」の問いには、「積極的に参加したい」「指示があれば参加したい」を合わせて9人（75.0%）が回答しており、一定の評価が得られ、生徒の皆さんにとって議員と意見交換を行うことができる有意義な会であったと言える。

選挙に関しての自由意見では「実際に、投票所に行ってみたい」「もう少し、若者が選挙に出てくれたらうれしい。ただ、選挙に参加するメリットがないと難しいと思う。」など選挙に対する若者の意見が伺えた。

また、参加して気づいたこと、思ったこと等については「市議会議員の活動の話の時に、袋井市の住民を安心して暮らせるまちにするための活動をしていることを知った」「議員の方がしっかり意見を聞いてくれたのでよかった。」などの意見があった。以上のことから、今後もこのような意見交換の機会が必要であることがわかりました。

『令和7年度 市議会議員と話そう』アンケート結果

【袋井商業高校 参加生徒25人】

1 学年 1年 9人(36.0%) 2年 6人(24.0%) 3年 10人(40.0%)

2 住所地 袋井市内 13人(52.0%) 袋井市外 12人(48.0%)
(磐田市:8人、森町:2人、掛川市:1人、回答なし1人)

3 『市議会議員と話そう』全体時間の長さはどうでしたか。

長い 1人(4.0%) ちょうどいい 23人(92.0%) 短い 1人(4.0%)

考察	23人(92.0%)が「ちょうどいい」と回答した。 時間の長さ(70分)は概ね好感触であり、有意義な時間を過ごせたと感じていただけ たものと思われる。
----	---

4 議会の活動状況を理解できましたか。

できた 24人(96.0%) 回答なし 1人(4.0%)

考察	24人(96.0%)が「理解できた」と回答した。 議長からの議会の活動報告が高校生にうまく伝えられた結果といえる。
----	--

5 『市議会議員と話そう』は満足しましたか。

満足 25人(100.0%) 不満足 0人

考察	全員が「満足」と回答した。 学校がテーマを決定し、生徒が事前に取り組んでいたため、円滑な話し合いとなった と思われる。
----	---

6 『市議会議員と話そう』に参加して議会・議員に対する関心は高まりましたか。

高まった 24人(96.0%) 高まらなかった 1人(4.0%)

考察	24人(96.0%)が「高まった」と回答した。 グループワークで議員とのコミュニケーションが図られた結果と思われる。
----	---

7 議員と話す時間の長さはどうでしたか。

長い 1人(4.0%) ちょうどいい 23人(92.0%) 短い 1人(4.0%)

考察	23人(92.0%)が「ちょうどいい」と回答した。 グループでの意見交換では、有意義な時間を過ごせたと感じていただけ たものと思われる。
----	--

8 意見交換会の進め方はどうでしたか。

- 満足 25人(100.0%) 不満足 0人

考察	全員が「満足」と回答した。 今回のグループワークの進め方は、概ね生徒に受け入れられたと思われる。
----	---

9 今後、このような機会があれば参加したいですか。

- 積極的に参加したい 15人(60.0%) 指示があれば参加する 10人(40.0%)
 参加しない 0人

考察	15人(60.0%)が「積極的に参加したい」、10人(40.0%)が「指示があれば参加する」と回答した。昨年度と比べ、「積極的に参加したい」と回答した生徒の割合が増えている。今後も、自ら積極的に参加したくなるような、より魅力的な運営の検討が求められる。
----	--

10 『市議会議員と話そう』を来年度以降も行う場合、下級生に参加を勧められますか。

- 積極的に勧めたい 12人(48.0%) 一応、勧める 13人(52.0%)
 勧めない 0人

考察	「参加を勧める」が13人(52.0%)、「積極的に勧めたい」が12人(48.0%)と回答した。参加した上での生徒の皆さんの評価は高かったものと思われる。
----	--

11 あなたは、袋井市に住み続けたい(住みたい)と思いますか。

- 『市議会議員と話そう』に参加する前から住み続けたい(住みたい)と思っていた
6人(24.0%)
 『市議会議員と話そう』に参加して住み続けたい(住みたい)と思った 4人(16.0%)
 住み続けたい(住みたい)とは思わない 3人(12.0%)
 現時点ではわからない 12人(48.0%)

考察	12人(48.0%)が「現時点ではわからない」、6人(24.0%)が「住み続けたい(住みたい)と思っていた」と回答した。 「会に参加して、住みたいと思った」生徒も合わせると、「住み続けたい(住みたい)」と回答した生徒が10人(40%)となり、袋井の魅力を感じてもらえた成果とも言える。
----	---

12 本年度に行われた選挙(4月：市議会議員選挙)は、投票しましたか。

- まだ選挙権(満18歳以上)がなかった 22人(88.0%)
 選挙権はあったが、投票はしなかった 1人(4.0%)
 投票した 2人(8.0%)

考察	「まだ選挙権がなかった」と回答した生徒が約9割であり、今後も投票に結び付くように、啓発が必要と思われる。
----	--

13 『市議会議員と話そう』に参加して、今後の選挙で投票に行こうと思いますか。

まだ選挙権がない方は、選挙権を得たら投票に行こうと思いますか。

『市議会議員と話そう』参加前から投票に行くつもりであった 19人(76.0%)

『市議会議員と話そう』に参加して投票に行こうと思った 5人(20.0%)

投票には行かないと思う 0人

現時点ではわからない 1人(4.0%)

考 察	ほとんどの生徒が「投票に行く」と回答した。 このうち5人(20.0%)が「市議会議員と話そうに参加して投票に行こうと思った」を選択したことは、今回の会の成果と言える。今後も若い世代への啓発活動が必要である。
--------	--

14 投票率の低迷等を含め、選挙に関して思うことを自由に御記入ください。

- ・自分が投票しても変わらないと思っている人が多いと思うので、一票の大切さを伝えていくべきだと思った。
- ・高齢者に良い公約が多いため。
- ・投票することで、何かを得ることができるとよい(商品券など)。
- ・若者の選挙への関心が少ないと思う。
- ・まだ何をしたいのかがはっきりと分からず、誰を応援するか迷う。
- ・投票が少し大変そうなイメージがある。
- ・選挙権があるので、今後は積極的に参加して、自分の意見を反映していきたいと思います。
- ・選挙の時には、自分のしてほしいことをしてくれるところに投票したい。
- ・選挙会場に行く以外にも、WEBサイトなどで投票することで、少しでも投票率を高めてほしいと思います。
- ・自分一人が投票したところで変わらないと思うところもあるけれど、少しでも袋井に貢献するためにも私は投票しようと思った。
- ・忙しくて投票する時間がない人がいるかもしれない。
- ・若者の投票率が低いため、若者に投票を勧める政策を考える必要があると感じた。
- ・普段暮らしていても、あまり選挙についての話題をきかない。SNSをもっと活用してもいいと思った。
- ・自分の一票に重みがあるということ、若者に理解してもらおうとよい。
- ・選挙をしても、特に考えがないので自分から進んで行こうとは思わない。親について行くので投票をする。
- ・自分が投票しても意味がないと思ってしまう人が多いため、その考えを変えていかなければいけないと思った。
- ・若い人が積極的に投票に参加するようにしたい。家で投票ができれば投票率が増えそう。
- ・投票したいと思うようなもの(特典のような)があると良いと思う。
- ・商品券などを配れば投票率が上がると思う。
- ・最近、若者の政治への関心が低くなっていることが、投票率の低下の原因だと思う。若者が政治に関心を持てるようにするために、学校の授業で、日本の政治についての授業を増やすことで、政治について知るきっかけをつくとよい。
- ・学校で選挙権がまだない生徒(ある生徒にも)に呼びかけをする。

15 『市議会議員と話そう』に参加して気づいたこと、思ったこと、今後の開催に向けて参考にしてもらいたいこと、市議会議員に言いたいこと等、自由に御記入ください。

- ・磐田と袋井の違いなど、磐田に住んでいるからこそ分かることがあった。
- ・愛野駅を栄えさせたい。
- ・参加したことで、改めて袋井市の魅力に気が付くことができた。
- ・自分達が改善したいと思っていることが、思っていたよりスムーズに改善されていると感じた。
- ・この会に参加したことで、社会について考えることができたので良い経験になりました。
- ・意見を出すことで、自分の気持ちをまとめることができた。
- ・気づかないところでまちを改善してくれていることが分かった。
- ・今の袋井のことを教えていただき、悪い点を改善したり、良い点を高めていけたらよいと思います。
- ・この話合いに参加することで、袋井に対する様々な面で興味・関心が深まると思うので、これからも続けて欲しいと思った。
- ・とても楽しい時間になりました。今度の袋井市の成長が楽しみになりました。
- ・袋井についてや、去年の市議会議員と話そうで出た意見なども知ることができて、さらにいろいろな意見を出せたので良いと感じた。
- ・とても分かりやすい進行で、意見を出しやすかったです。
- ・袋商ショップなどを行う時に、今日の会を参考にしながら考えるようにしたいと思いました。
- ・外で遊ぶ場所を増やしてほしい。
- ・意見交換の時間が少ないように感じたため、もう少し長くしても良いと思った。
- ・多くの人でやることで意見が深まると思った。
- ・袋井市の良い点と悪い点が振り返ることができたのでよかった。
- ・私が考えたことがなかったようなことを、他の人が発表しておもしろいと思った。
- ・自分が知らなかった魅力が出たり、みんなでどうしたら良くなるかを考える機会になった。
- ・交通機関をもっと良くすれば、たくさんの観光客がくるのではないかと思った。
- ・去年の意見で出たことを、今回どのようなことに繋げたのかを教えていただき、よいなと思った。

※ 総括

「市議会議員と話そうは満足しましたか」の問いに、全員が「満足」と回答し、また、「市議会議員と話そうに参加して議会・議員に対する関心は高まりましたか」の問いにほとんどの生徒が、「関心が高まった」と回答した。この結果から、参加者の『市議会議員と話そう』に対する評価は好評であり、高校生にとって議員と意見交換を行うことができる有意義な会であったと言える。

選挙に関する自由意見では、「自分が投票しても変わらないと思っている人が多いと思うので、一票の大切さを伝えていくべきだと思った。」など、今回の会が選挙について考えるきっかけとなったことから、引き続き主権者教育をする場が必要であると考えられます。

また、参加して気付いたこと等については、「参加したことで、改めて袋井市の魅力に気が付くことができた。」「この話合いに参加することで、袋井に対する様々な面で興味・関心が深まると思うので、これからも続けて欲しい」など好意的な意見も多く、このような意見交換の機会が求められていることが分かりました。